

長久手市行政評価票

事業番号	21	事業の名称	巡回バス運行事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	「公共施設の利便性向上」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加促進」及び「市内の交通空白地帯の解消」「子育て支援」「通勤・通学の利便性の向上」を目的に、市所有の小型バス5台で、市内を7ルート、82便/日で運行する。 また、モバイル利用者の多い学生や一般利用者の利便性向上を図るため、携帯端末を利用したバスの運行状況の情報提供を行うバスロケーションシステムの導入を、運行委託者と進める。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年5月1日現在、県内において、54市町村のうち49市町村(約91%)でコミュニティバス(自主運行バス)が運行されている。							
	事業期間	事業開始年度	平成10年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民			総事業費	うち	一般財源	93,617	88,226	86,114	84,947	95,452	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の市内交通の利便性の向上					国費・県費						
						地方債						
						その他						
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H25実績			H25目標値						H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算					
① N-バス運行事業	全市民に	[Progress Bar: 4/4] →				市民の市内交通の利便性の向上を図る。	利用者数 215,788人(うち 有料乗車人数 42,065人)、運 行日数359日 (平均乗車数 601人/日) 運行負担金 84,806千円	年間利用者数	202,117 215,788 210,000	人	平成23年度のバス路線再編後、平成24年度利用者数は前年比3.6%増加したため、平成25年度は4%増加を目標値とした。	93,617 86,114 95,452	88,226 84,947	86,114 84,947	84,806、代車用マグネットシート70、乗継券印刷63	A 維持 維持	引き続き利便性向上に向けた取組を進めるとともに、N-バスの周知・PRにより、市民の足となるよう努める。			
② バスロケーションシステムの導入	全市民に	[Progress Bar: 4/4] →				市民の市内交通の利便性の向上を図る。	H26.3.1 ~ H26.3.31の間にN-バスの遅延に関する問合せ0件	N-バス遅延の問合せに対する、折り返し電話の件数。	- 0 0	件	バスロケーションシステムを導入することにより、正確な運行状況を利用者へ提供できるようになるため、問合せに対して即時回答ができるとして、0件とした。	- N-バス運行事業費を含む。 N-バス運行事業費を含む。	- N-バス運行事業費を含む。	-	-	A 維持 維持	平成26年度以降は、通信費のみの負担となる。本システムの周知・PRにより一層の活用を促す。			
③		[Progress Bar: 0/0]																		
④		[Progress Bar: 0/0]																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① N-バス運行事業	N-バスの路線等の見直しを行うワーキング等を行い、さらなる利便性の向上を目指す。			N-バス購入事業
			N-バス運行計画検討調査事業	平成23年4月1日に一部路線再編して以来、すでに3年が経ち、新たなニーズに対応する必要性が高まっていることから、見直しを行うワーキング等を行い、市民の意見を反映させた路線の再編案を作成する。	